

2022 年度事業報告

全 体 活 動

〈 会 長 報 告 〉

1. 協会活動について

2022 年度は、新型コロナによる影響を受けた 3 年目であった。

対面研修の再開を検討してきたが、感染の拡大が収まらず引き続き感染予防対策のために研修、会議は全てオンラインで対応してきた。オンラインの準備や対応は慣れてきたが、研修参加者が減っていることに凝集性や参加意欲への課題が浮かび上がってきている。2023 年度に向けて研修の方式を対面式の再開へ向けて検討を始めた。(公社) 日本医療ソーシャルワーカー協会 (以下、日本協会) のシラバスに則った基幹研修 I はオンラインにより 4 年ぶりに開催できた。

委員会活動も引き続き活発に開催された。新たに、災害対策支援委員会による LINE オープンチャットを用いた災害時緊急連絡体制を構築し訓練を実施した。そのために「災害対策に関する規程」と「災害時緊急連絡体制に関する規程」を作成し、施行となった。広報委員会ではホームページの改訂に取り組んだ。

対外的な活動としては、ソーシャルワーカーデーを合同開催してきた群馬県社会福祉士会、群馬県精神保健福祉士会、当協会 (以下、三団体) の会長、副会長による三団体情報交換会を定期的
に開催、2023 年度に群馬県ソーシャルワーカー連盟発足へ向けての協議を進めてきた。

全国医療ソーシャルワーカー協会会長会に 2 回参加し会員新規確保と維持・組織運営、人材育成、地域から求められる職能団体の役割について情報共有を図った。また、会長会事務局と日本協会組織運営部による基礎調査に協力し、法人化状況、社会福祉士取得割合、日本協会加入状況把握、オンライン研修実施状況、専用事務所や職員の雇用、法務系等の業務委託状況、行政会議等の参加・派遣実績等について回答した。この調査の全国結果は取り決めて理事のみ閲覧可能となっていて、今後も定期的
に実施予定である。

群馬県や各団体からの活動協力依頼については、新たに発足した「群馬県循環器病対策推進協議会」「群馬県依存症対策推進協議会」へ委員を推薦、参加することになった。弁護士会、司法書士会による提案の各士業団体による「災害時における被災者等相談に関する協定」に関して参加のお声かけいただき、締結に向けての協議に参加することを決めた。

コロナ前まで 24 時間ウォークに参加していたリレーフォーライフは、感染予防のためルミナリエ作成という形で参加した。自民党の政調懇談会、公明党の意見交換会への参加が準備不足によりできず問題提議ができなかったことはお詫び申し上げたい。

ソーシャルワーカー団体として社会的にも専門職としての役割をより求められてきていると実

感している。活動の増加と共に、一般社団法人として継続的な運営のためには事務的な負担、運営に必要な経費も増えている状況がある。事務局の作業負担や物品管理、理事、会計業務の負担が課題となっている。継続的な運営のために理事、会計、事務局業務の分担や軽減のための検討が必要な状況である。

2. 理事会活動について

理事が新体制となり半数以上が交代、2名減となり、副会長は2名体制となった。理事会は、6回全てオンラインで開催し、事業の進捗状況を確認、審議した。

〈 事 務 局 〉

事務局業務としては主に会員管理（入会・退会・変更・休会）、公的機関からの委員選任依頼、講師派遣依頼、群難連請願活動関係、関連団体からの通信・研修案内等々を理事会並びに会員へメールやオンラインを利用して発信してきた。

今年度の会員の動きは以下のとおりである。

- ・ 2022年度 入会 15名
- 退会 13名
- 変更 19名
- 休会 3名 ※年度末現在の会員数 282名

- ・ 本会と外部の機関・団体との関係については、別紙1および2の通り

〈 研 修 〉

1. 学生向け研修

昨年と同様にオンラインにて開催した。参加者14名（群馬医療福祉大学1名、高崎健康福祉大学9名、東京福祉大学4名）であった。午前の部では急性期病院と回復期病院における医療ソーシャルワーカーの病院での役割や実際の業務内容についての講義を実施した。午後の部では「面接技術」をテーマに講義とロールプレイを用いた実践的な学習と、現役医療ソーシャルワーカーへ学生からのインタビューの場を設けた。アンケート結果では、研修への満足度と達成度が共に「非常に満足（77%）」、「やや満足（23%）」であった。実際の現場で働くソーシャルワーカーの業務の中身が聞け、事例やロールプレイを用いたことで、想像し理解しやすい内容であったとの声もいただくことができた。また現役ソーシャルワーカーへのインタビューは、将来の進路に悩む学生が、その場で様々な質疑応答求めることができたため例年同様に好評であった。聴講だけでなく、学生参加型の研修であるとより分かりやすく学びやすいものとなるような感触を得た。学生を対象にした研修としては充実した内容を提供でき、医療ソーシャルワーカーへの理解を深めることが出来た。今後も研修内容を工夫しながら継続した開催が提供できるようにしたいと考える。

日 時：2022年7月9日（土）10：00～16：30

内 容：講義Ⅰ「医療ソーシャルワーカーのお仕事 ～急性期病院～」

講師：桐生厚生総合病院 藤生斐子氏

講義Ⅱ「回復期リハビリテーション病棟でのMSWの役割」

講師：恵愛堂病院 相場理沙氏

面接技術（講義・ロールプレイ・グループワーク）

講師：群馬リハビリテーション病院 小川晋平氏

現役の医療ソーシャルワーカーへの質問（グループワーク）

参加者：県内の社会福祉士養成校の学生

2. 新人研修（1～2年目）

2022年度の新人研修は保健医療福祉分野に勤務する1～2年目の医療ソーシャルワーカーを対象とし、全16講義(1500分)の研修を行い、11名の参加であった。今年度も感染状況を鑑み、オンライン形式での実施であったが、講義だけでなくグループワーク等も取り入れ、医療ソーシャルワーカーに必要な基礎的な知識や技術を、参加者同士で共有しながら学ぶ研修となった。また、日本協会へ認定医療ソーシャルワーカー研修ポイント申請を行い、全講義出席者である7名へ33ポイントを付与することができた。

今年度の新たな取り組みとして、fomzu内に「受講生向け専用ページ」を設け、運営側からの連絡・資料提供・アンケートなどは全て受講生がアクセスしてもらう方法で実施した。受講生からの反応も良好であった。

また、例年実施している「受講生向けアンケート(各講義・全体)」に加え、「講師向けアンケート」を実施。これらの結果を踏まえ、今後シラバス改定や研修形態などについて協議・検討していく。オンライン形式での研修では「横の繋がり」を作ることの限界を感じたため、次年度の課題としていきたい。日程等詳細は下記の通り。

	日程	講 義	講 師	
1回目	7/31(日)	医療ソーシャルワーカーの倫理・価値・役割	老年病研究所附属病院	狩野寛子氏
		病院組織と医療ソーシャルワーカー	群馬大学医学部附属病院	青木優一氏
		社会保障制度	くすの木病院	矢代裕麻氏
2回目	8/21(日)	スーパービジョン	スーパービジョン委員会	宇野浩文氏
		多職種連携	老年病研究所附属病院	近藤早希恵氏
		コミュニケーション	利根中央病院	荻野秀樹氏
3回目	9/23(祝)	面接技術	東京福祉大学	中里哲也氏
		アセスメント	東京福祉大学	中里哲也氏
		記録と報告	群馬リハビリテーション病院	小屋聡史氏
4回目	10/23(日)	診療報酬と医療ソーシャルワーカー	沼田病院	小淵匡氏
		救急医療ソーシャルワーク	高崎総合医療センター	高橋紀貴氏
		多文化ソーシャルワーク	太田・鳥之郷 地域包括支援センター	木村晋也氏

5 回目	11/20(日)	災害ソーシャルワーク	災害支援対策委員会	吉井郁美氏 青木優一氏
		虐待とソーシャルワーク	子ども家庭支援委員会	望月裕子氏
		精神医療ソーシャルワーク	精神保健福祉士会	林 次郎氏
6 回目	2/5(日)	事例検討	前橋赤十字病院	碓井祐太郎氏

3. 全体研修

2022年度は2回開催とした。Zoom及びオンラインイベント管理ツール「Peatix」を活用しオンラインでの有料研修とした。

第1回

日 時：2022年5月14日(土)16:15～17:45

内 容：令和4年度診療報酬改定

講 師：社会医療法人 恵和会 西岡病院 岡村紀宏氏

参加者：58名

令和4年度診療報酬改定に関して、日本協会副会長も務める岡村紀宏氏を講師に迎え、改定・変更点を中心に日本協会の要望や活動も交えて講義していただいた。アンケート結果より、90%以上の参加者が「大変役立つ」または「役立つ」と回答し、96%以上の参加者が「知識が大変増えた」または「知識が増えた」と回答しており、有意義な研修となったと考えている。

第2回

日 時：2023年2月26日(日)13:30～16:30

内 容：アセスメント～アセスメントに重要な価値を考える～

講 師：立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 松山真氏

参加者：38名

ソーシャルワークにおいて最も重要なアセスメントに関して、立教大学コミュニティ福祉学部教授の松山真氏を講師に迎え、講義＋グループワーク＋演習という形式で研修を開催した。参加者の経験年数が1年～20年以上まで幅広い経験年数の会員に参加していただいた。アンケート結果より、90%以上の参加者が「満足」と回答しており、充実し、会員のニーズにあった研修を開催することができたと推察する。一方で、参加者数は多いと言い難い人数に留まっており、開催方法や申し込み方法を含め、今後の課題の1つであると認識している。

4. 初任者研修（基幹研修Ⅰ・群馬県版）

新型コロナの感染拡大を受け2018年に第1回を開催してから4年ぶりの開催となった。コロナ禍の社会的情勢を踏まえ、オンライン形式での開催とした。日本協会と都道府県協会が連携し開催する取り組みの意向を受け、当協会では日本協会の基幹研修Ⅰのシラバスと同様の研修内容で「初任者研修（基幹研修Ⅰ・群馬県版）」として開催した。参加者は15名であった。

日本協会をはじめ、当会会員及び県内医療機関の医師、県内外の大学の先生方にご協力いただき、充実した内容の研修が開催できたと考えている。

参加者の学習意欲は高く、医療ソーシャルワーカーとしての基礎知識に加え、医療現場で働く上で必要な医学的知識や、医療現場において医療ソーシャルワーカーへ期待すること等、多くの話を聞くことができ、貴重な時間となった。

また、価値や倫理、アセスメント、面接技術など日々の実践と照らし合わせながら、学び・知り・体験することで多くの気づきを得ることができ、業務に活かせる知識や技術の取得もできたのではないかと思われる。

参加者が得た多くの学びを、日々の業務に活かし、今後も専門職として、更なるステップアップを目指し、医療ソーシャルワーカーの存在意義を一人ひとりが高めてもらいたいと期待する。日程等詳細は下記の通り。

	日程	講義	講師	
1回目	8/28(日)	セッション②日本における医療ソーシャルワーカーの成立と課題	おがた社会福祉事務所	尾方 仁氏
		セッション⑥診療報酬とソーシャルワーク	文京学院大学	篠原純史氏
		セッション⑨⑩支援方法論 面接技法・アセスメントⅠ (前半)	東京福祉大学	中里哲也氏
2回目	9/25(日)	セッション⑨⑩支援方法論 面接技法・アセスメントⅠ (後半)	東京福祉大学	中里哲也氏
		セッション⑪医療ソーシャルワークと記録	老年病研究所附属病院	狩野寛子氏
		セッション③-8 生活機能障害とソーシャルワーク	前橋赤十字病院	碓井祐太郎氏
3回目	10/30(日)	セッション③-7 医学知識⑦在宅療養	あい太田クリニック	野末 睦氏
		セッション④医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	群馬リハビリテーション病院	宇野浩文氏
		セッション③-1 医学知識①糖尿病と合併症	プランタンおおま	水間春夫氏
		セッション③-3 医学知識③がん	群馬県立がんセンター	柳田康弘氏
4回目	11/27(日)	セッション⑤社会保障制度とソーシャルワーク	くすの木病院	矢代裕麻氏
		セッション③-6 医学知識⑥認知症	老年病研究所附属病院	甘利雅邦氏
		セッション③-2 医学知識②脳卒中と連携パス	前橋赤十字病院	朝倉 健氏

5 回目	12/11(日)	セッション⑦支援方法論 チーム医療と地域連携	群馬リハビリテーション病院	小川晋平氏
		セッション③-4 医学知識④緩和ケア	伊勢崎市民病院	廣野正法氏
		セッション③-5 医学知識⑤アルコール関連問題とアディクション	赤城高原ホスピタル	菊池裕子氏
6 回目	1/29(日)	セッション⑧医療における「家族」の理解	前橋赤十字病院	中井正江氏
		セッション⑫事例検討の方法と実践の検証	群馬大学医学部附属病院	大川友子氏
		セッション①厚生労働行政の動向	西岡病院	岡村紀宏氏

5. グループ活動サポート事業

今年度は応募なし。

〈 広 報 〉

1. 発行物関係

- ・ぬくもり群馬・・・2022年11月（秋号）・2023年3月（春号）

2. ホームページ関係

- ・リニューアル業者を「AIR（エイル）」に選定し、打合せを7回開催した。
- ・研修案内、会議報告、広報誌等のアップロード及び内容の更新（20回）*3月31日現在
*2022年4月1日～2023年3月31日
- ・SNS（Facebook）のアップロード（16回）*3月31日現在
*2022年4月1日～2023年3月31日

3. メーリングリスト関係 *3月31日現在

- ・新規変更登録等の管理運営（入会： 41件 退会： 31件）
メーリングリスト登録者数（全会員282名中登録者：278名加入率98% 304アドレス）
ブロック別 中毛： 69名・ 78アドレス
西毛： 58名・ 58アドレス
東毛： 105名・ 116アドレス
北毛： 43名・ 47アドレス
県外： 3名・ 3アドレス *管理者アドレス含まず
*2022年4月1日～2023年3月31日

4. その他

- ・群馬県社会福祉士会・群馬県精神保健福祉士会の広報担当で計2回ワーキンググループを開催し、三団体合同広報誌の発行を検討した。

ブ ロ ッ ク 活 動

〈東毛ブロック〉

ブロック長 小林麻美 副ブロック長 津田 至

1. ブロック会

第1回

日 時：2022年9月30日（金）19：00～20：30

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：「8050問題に関する現状」

- ・実践報告ー多職種連携を通して、周囲ができることー
- ・地域課題とその支援体制について

講 師：藪塚地域包括支援センター 芝崎光弘氏

館林市社会福祉協議会 小谷野真人氏

参加者：45名（東毛ブロック42名、他ブロック3名）

第2回

日 時：2023年1月27日（金）19：00～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：意見交換会、次年度のブロック会について（東毛ブロック会員のみ）

参加者：24名（東毛ブロック：23名、他ブロック：1名）

2. まとめ

2022年度は理事改選とブロック長の変更があり、勉強会1回と意見交換会1回、計2回のブロック会開催となった。勉強会では、近年の社会問題として取りざたされることが多い8050問題について、地域包括支援センターと社会福祉協議会の方にご講演いただき、多くの会員が参加した。意見交換会では、参加者から事前にテーマを募集して、その中のいくつかのテーマを提示し、グループごとに自由にテーマを選んで意見交換を行った。グループの振り分けは、1周目を同世代、2週目を多世代になるように振り分け、幅広い意見交換ができるよう調整した。

〈中毛ブロック〉

ブロック長 桑原陽子 副ブロック長 池田瑞保

1. ブロック会

◇ブロック会アンケート実施（2022年8月）

メーリングリスト・アンケートフォームにて2022年度ブロック会計画・運営についてアンケートを実施。

第1回

日時：2022年9月1日（木）19：00～20：30

方法：オンライン（Zoom）

内容：ブロック会員の自己紹介・近況報告、2022年度ブロック会活動計画

参加者：30名

第2回

日時：2022年10月26日（水）19：00～20：30

方法：オンライン（Zoom）

内容：前橋赤十字病院企画勉強会

「前橋赤十字病院の取り組みについて」

①業務改善の取り組み

②身元保証マニュアル作成とMSWが参加する倫理コンサルテーションの取り組み

③CDR(チャイルドデスレビュー)とNHZ(ノーヒットゾーン)の取り組み

参加者：中毛ブロック43名 他ブロック25名

第3回

日時：2022年2月22日（水）18：30～20：00

方法：オンライン（Zoom）

内容：善衆会病院企画勉強会

「居住支援法人制度について - 制度を活用したある事例を通して -」

①居住支援法人制度の概要

②支援事例報告

参加者：30名

◇ブロック会アンケート実施（2023年3月）

メーリングリスト・アンケートフォームにて2022年度ブロック会の感想・意見、2023年度の希望・意見のアンケートを実施。

2. まとめ

2022年度はブロック長・副ブロック長の交代があり活動開始がやや出遅れた。8月、会員にアンケートを実施、9月第1回ブロック会で活動内容やコロナ禍でのブロック会活動のかたちを話し合った。中毛ブロックでは、コロナ禍前、所属を問わずグループを作り勉強会を企画・実施してきたが、2022年度は所属機関ごとにグループを作り勉強会を企画、オンライン（Zoom）で実施した。

〈西毛ブロック〉

ブロック長 高林亜希子 副ブロック長 高橋紀貴

1. ブロック会

第1回

日 時：2022年6月28日（火）19：00～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：理事・ブロック長あいさつ、自己紹介・近況報告、グループワーク（ブロック会テーマに
関して 等）、定例会

参加者：16名

第2回

日 時：2022年8月31日（水）19：00～20：15

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：ACP（アドバンスケアプランニング）について、グループワーク、
第3回医療介護連携フェスティバル in 高崎 寸劇の紹介、定例会

参加者：6名

第3回

日 時：2022年10月18日（水）18：30～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：「医療と介護がちょっとずつ手を伸ばし連携するための研修会」
連携上の役割・連携事例報告、グループディスカッション、定例会

講 師：高齢者あんしんセンター新生会 高林正洋氏
 高齢者あんしんセンターたかさき社協 鈴木めぐみ氏
 高崎総合医療センター 高橋紀貴氏
 日高リハビリテーション病院 中島涼太氏

参加者：MSW11名 高齢者あんしんセンター20名

第4回

日 時：2022年12月21日（水）18：30～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：『学生の現場実習について』報告、ディスカッション、定例会

講 師：高崎総合医療センター 佐俣智子氏
 高崎健康福祉大学 加藤大輔氏

参加者：11名（他ブロック1名）

第5回

日 時：2023年2月21日（火）18：30～20：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：『身元保証に関する研修会』講演、定例会

講 師：一般社団法人後見ネットワーク群馬 副理事長 伊藤孝志氏

参加者：23名（他ブロック9名）

2. その他の活動

第3回医療介護連携フェスティバル in 高崎

主 催：高崎市医療介護連携相談センター南大類

配信期間：2022年12月1日（木）～2023年2月28日（火）

内 容：寸劇動画「もしもの時に備える人生会議って何？【第1部】

方 法：ホームページ（特設サイト）

詳 細：MSW 役として高崎総合医療センター高橋紀貴氏が出演

3. まとめ

2022年度より、コロナ禍以前に行っていた担当制を再開。開催方法はオンラインとした。ACP、地域関係機関との交流、学生の状況等をテーマとして、ブロック会を5回開催したことと、高崎市医療介護連携相談センター南大類が主催する「第3回医療介護連携フェスティバル in 高崎」に参加した。リハビリ病院に入院している脳卒中後患者の、退院支援における多職種カンファレンスの場面でMSW 役として参加し、一般市民への紹介や啓発を図ることができた。

〈北毛ブロック〉

ブロック長 金子美智 副ブロック長 関口奈津希

1. ブロック会

第1回

日 時：2022年6月9日（木）18：30～19：30

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：今年度の活動について、新人紹介、意見交換会

参加者：14名

第2回

日 時：2022年12月5日（月）18：15～19：00

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：「介護保険⇄障害福祉」共生型相談支援の実践の現場から

講 師：ケアマネステーションかんばら 佐藤義浩氏

参加者：15名

2. まとめ

2022年度もオンラインでブロック会を実施した。第1回のブロック会で、ブロック内各エリアに分け、エリア毎で研修企画することを計画していたが、実施できなかった。

また、2022年度の事業計画で掲げていたブロック会員全員へのアンケートも行えなかった。年2回の実施であったが、両日とも10名以上の参加であり、2021年度の参加者一桁台は脱することができた。実施回数自体は、2021年度より少なくなってしまったため、ブロック会で誰が中心に研修企画を立てるのかなどの役割分担を明確にしたり、計画的にブロック会を開催できることが課題となった。

委員会活動

〈 研修企画委員会 〉

委員長：小屋聡史

委員：碓井祐太郎 小川晋平 加藤大輔 木村晋也 齊藤聖香 藤生斐子 矢代裕麻 山浦美和子

研修企画の立案や運営を協議し、研修事業の更なる充実を図るために、アンケート内容を反映させた検討・研修事業の体系化の推進を行った。活動内容の詳細については、先の〈研修〉報告を参照。

全11回（第1回 5/12、第2回 6/2、第3回 7/21、第4回 8/18、第5回 9/15、第6回 10/20、第7回 11/16、第8回 12/15、第9回 1/19、第10回 2/7、第11回 2/16、第12回 3/16）委員会を開催。その他、メールや SNS を活用し、迅速な協議を心掛け、各研修会終了後にもミーティングを行う等の工夫を行った。

〈 広報委員会 〉

委員長：原島歩志 副委員長：星野裕一

委員：小淵 匡 長峰雅史 内田真穂 小川貴之 長野明日香

1. 委員会開催

第1回 2022年7月12日 オンラインにて開催

第2回 2022年11月29日 前橋赤十字病院（ぬくもり群馬 2022 秋号発送作業）

第3回 2023年3月27日 前橋赤十字病院（ぬくもり群馬 2023 春号発送作業）

2. ホームページ打合せ

担当：原島・豊野・小川

2022年9月15日 19:00 オンラインで実施

2022年11月1日 19:00 オンラインで実施

2022年12月15日 19:00 オンラインで実施

2023年2月9日 19:00 オンラインで実施

2023年3月1日 19:00 オンラインで実施

2023年3月3日 19:00 オンラインで実施

2023年3月24日 19:00 オンラインで実施

3. まとめ

今年度はホームページ改訂に向け、広報委員内で担当を選定し、オンラインで打合せを7回行った。その他、意見交換を LINE グループで随時実施した。

メーリングやオンライン中心で意見交換を行い、広報誌発送作業も含め3回/年の委員会、7回/年のホームページ打合せを開催した。

三団体合同事業として、広報誌の編集発行について打合せを行った。

〈人権擁護・身元保証検討委員会〉

委員長：富岡真理子 副委員長：青木雅代

委員：青木優一 狩野寛子 高橋紀貴 望月裕子 堀込真弓 小池由美 南あゆな 中島涼太

今年6回の委員会を開催した。2023年度の三団体の連携事業として、県内の有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅事業者に向けた「身元保証社会調査」に向けて、調査研究委員会と当委員会が協働し、先行研究を参考にする等準備を進めた。この取り組みについて、2024年度の第72回日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会第44回日本医療社会事業学会（大分大会）での発表を目指している。

今年度は、調査や研修などの取り組みは行わなかったが、次年度の活動を見据えて、委員の課題の認識合わせを中心に委員会を開催した。その一環として、委員会開催時に、委員より人権や身元保証に課題のあった事例の共有を行い、支援内容についてディスカッションを行う等の知識やスキルアップを図った。

事例を通して、身元保証問題の実際について話し合うことによって、SW実践の内容のみならず、そのときの心情などを知る機会になることを改めて実感した。このような取り組みを積み重ねることにより、私たちが地域において身元保証問題解決のネットワークを構築していく足がかりとなるのではないかとこの感触を得ることができた。

〈スーパービジョン委員会〉

委員長：宇野浩文 副委員長：篠原純史

委員：尾方 仁 木村晋也 篠田有希 高橋博明 原 一正 池田瑞保 佐藤拓海

2022年度のスーパービジョン（以下、SV）委員会では、まず、スーパーバイザー（スーパーバイザー育成研修修了の1期生～3期生）を対象に、各機能（教育的、支持的、管理的）を意識した研修を企画した。1回目は「教育的、支持的」機能を意識したSVの実践、2回目は、管理的機能を実践に活かすために、その趣旨の講義を企画した。

他に、恒例となったスーパーバイザー研修（通称「ピアカフェ」）も3回オンライン開店（開催）した。新たな試みとして、対象を拡大して経験年数別にグループとテーマをつくり、自由に語り合ってもらった。但し、来店者（参加者）が固定化してきている点や1年目の新人の参加が少なかった点など、PR不足などの課題はまだあると認識している。

尚、当委員会の活動評価については未着手であり、反省すべき点である。次年度に持ち越して、形にしたいと考えている。

1. 委員会開催回数：7回（全てオンライン開催）

日時	第1回	2022年6月30日（木）	参加者9名
	第2回	2022年8月30日（火）	参加者9名
	第3回	2022年9月27日（火）	参加者8名
	第4回	2022年11月24日（木）	参加者7名
	第5回	2023年1月24日（火）	参加者8名
	第6回	2023年2月21日（火）	参加者6名
	第7回	2023年3月30日（木）	参加者8名

2. スーパーバイザーミーティング（全てオンライン開催）

第1回

日時：2022年9月27日（火）19：00～

内容：1期生～3期生の希望者に対して、「スーパービジョンの機能」の説明をし、グループワークでは架空事例（教育的、支持的機能を必要とした事例）をもとに、バイザー役、バイジー役、観察者となりSVを実施した。

参加者：6名

第2回

日時：2022年12月20日（火）19：00～

内容：講義「（管理的機能に着目した）組織内におけるスーパービジョン体制の構築」

講師：篠原純史氏（文京学院大学、協会員）

参加者：11名

3. ピアカフェ（全てオンライン開催、時間帯は全て19：00～20：30）

第1回

日時：2022年8月30日（火）

内容：＜5年目から概ね7,8年目のグループ＞

テーマ①「忙しくなってきた、部下や後輩への指導が満足にできない」

テーマ②「MSWとして、在り方やスキル、実践が、本当にこれで良いのかと心配になります」

＜2年目から4年目のグループ＞

テーマ①「仕事は覚えてきたが、上司や先輩の役に立っているのか」

テーマ②「周りの影響もあり、上手く業務の優先順位が決められない、みんなはどうしているのか」

参加者：11名

第2回

日時：2022年11月24日（木）

内容：＜2年目から4年目のグループ＞

テーマ①「他部署へソーシャルワーカーの視点での意見が伝わらない気がする。患者の

不利益になってしまうことがあるのではないかと思いながら改善ができない。
どうしたら良いだろうか」

テーマ②「業務内容が組織の意向に偏りすぎていないだろうか、心配である。患者家族の利益の追及ができていない気がする。どうしたら良いだろうか」

参加者：6名

第3回

日時：2023年2月21日（火）

内容：＜1年目から2年目のグループ＞

テーマ①「一日の仕事の中で緊張すること、ホッとすることを教えて」

テーマ②「私になりたい、MSWの先輩像、上司像は」

＜3年目から4年目のグループ＞

テーマ①「入退院調整ばかりが主になってしまい、患者との関わりが薄くなっている気がするのですが。みなさん、そんな気はしませんか」

テーマ②「ずばり、今、受け持っているケースのこと、なんでも話してみませんか。もちろん、ここだけの話ということで」

参加者：8名

〈災害支援対策委員会〉

委員長：吉井郁美 副委員長：金子雅仁

委員：小淵匡 青木優一 青木雅代 山田拓哉 吉田圭佑

平時からの減災・防災の取り組みとして情報発信や大規模災害時における体制整備を継続実施している。また、大規模災害時の被災者支援に関する知識・技術を学ぶための研修を実施した。

1. 委員会開催回数：10回全てオンライン（Zoom）

第1回	2022年6月23日（木）	第2回	2022年7月21日（木）
第3回	2022年8月17日（水）	第4回	2022年9月18日（日）
第5回	2022年10月13日（木）	第6回	2022年11月21日（月）
第7回	2022年12月14日（水）	第8回	2023年1月26日（木）
第9回	2023年2月22日（水）	第10回	2023年3月30日（木）

2. 災害支援研修のアンケート調査・研修の実施

2022年8月に研修に関するアンケート調査を実施し、以下の研修を開催した。主催側のZoom設定により当日参加困難だった会員2名は、後日理事会で協会活動に参加扱いとして承認された。

日時：2023年3月11日（土）19：00～20：30

方法：オンライン（Zoom）

講師：長野市企画政策部復興推進特別対策室長 小池啓道氏

内 容：「復興力～災害時の福祉の役割～」

参加者：44名（会員31名・非会員13名：内訳 県内他団体3名 県外10名）

3. 災害対策に関する規程の整備

群馬県内において災害が発生した際に、当協会が設置する災害対策本部を適切に運用するための災害対策に関する規程を整備し、2023年3月16日付で理事会に承認された。

4. 大規模災害時の緊急連絡体制の運用

LINE オープンチャットによる災害時緊急連絡体制の運用を開始し、2023年3月31日現在で78名（東毛28名、中毛24名、西毛12名、北毛14名）が登録している。以下の訓練を実施した。

日 時：2022年9月9日（金）12：00～9月10日（土）17：00

内 容：災害時を想定した安否確認の配信テスト

参加者：68名（東毛24名、中毛23名、西毛9名、北毛12名）

5. 三団体との連携強化

日 時：2022年11月29日（火）19：00～20：30

方 法：オンライン（Zoom）

内 容：情報交換会、講義「新潟県中越地震における災害支援活動～災害支援に伴う協会運営について～」

講 師：群馬リハビリテーション病院 宇野浩文氏

参加者：当委員会3名、群馬県社会福祉士会3名、群馬県精神保健福祉士会11名

6. ミニ災害支援講座の発信

全6回（7月、9月、11月、1月、3月、5月）をメーリングリストにて発信した。

〈子ども家族支援委員会〉

委員長：望月裕子 副委員長：長峰雅史

委 員：中井正江 嵯峨琢子 瀬下明日香 星野妙美 碓井祐太郎

2022年度の活動テーマを「ソーシャルワーカーとしての虐待対応能力の向上」とし、支援事例を事例検討形式で検証することで子ども家族支援に関わる課題点の抽出を試みた。全7回の事例検討から他機関連携についてフォーカスし、「児童虐待における児童相談所と病院MSWの連携」をテーマにした研修会を会員及び県内児童相談所向けに実施した。今年度の事例検討を通して考察した課題から次年度も会員向けに研修等を検討していきたい。

1) 委員会実施状況（全てオンラインで実施）

開催日及び内容

第1回 2022年7月14日 年度活動計画及び新人研修講師選定

第2回 2022年8月31日 事例検討（提出者：前橋赤十字病院 中井正江氏）

第3回 2022年9月29日 事例検討（提出者：前橋赤十字病院 長峰雅史氏）

- 第4回 2022年10月21日 事例検討（提出者：前橋赤十字病院 望月裕子氏）
- 第5回 2022年11月24日 事例検討（提出者：高崎総合医療センター 嵯峨琢子氏）
- 第6回 2022年12月23日 事例検討（提出者：県立小児医療センター 瀬下明日香氏）
- 第7回 2023年1月25日 事例検討（提出者：伊勢崎市民病院 星野妙美氏）
- 第8回 2023年2月9日 事例検討（提出者：前橋赤十字病院 碓井祐太郎氏）

2) 研修会

日 時：2023年3月13日（月）19時00分～20時30分

方 法：オンライン

内 容：児童虐待における児童相談所と病院MSWの連携

講 師：名古屋市子ども青年局 西部児童相談所 児童福祉司 山田優作氏

参 加：32名（県内児童相談所職員含む）

〈 組 織 率 向 上 委 員 会 〉

委員長：山岸佑気 副委員長：山浦美和子

委 員：高橋紀貴 森下大輔 高橋真也 関口奈津希

年6回の委員会とアンケート調査を実施した。

2022年度は例年行っていた県内医療機関・介護老人保健施設のソーシャルワーカー・支援相談員対象のアンケート調査を行った。アンケートの回収率が年々低下しており、今回のアンケートでは、会員のいる医療機関からの回収率は66%、介護老人保健施設では40%であった。対外的なアンケート回収を求めることの他に、会員からの回収率を伸ばす必要があることが今回のアンケート結果から分かった。

また、今回のアンケート調査にあたり、医療機関・介護老人保健施設の所属の会員以外からも、アンケートへの協力の意向を示す意見を得たため、今後の活動に活かしていきたい。

〈アンケート〉

回答期間：2022年10月26日～12月23日

方 法：① 当協会加入施設にはメーリングリストを利用してオンラインアンケートへの協力を依頼。

② 介護老人保健施設並びに当協会未加入医療機関には、郵送にてアンケートを依頼。

回 収 率：127病院中、87病院から回答あり（68.5%）

84老健施設中、57老健から回答あり（67.9%）

当協会ホームページにアンケート報告書をアップロード

〈 調 査 研 究 委 員 会 〉

委員長：碓井祐太郎 副委員長：津田 至

委員：中井正江 狩野寛子 篠原純史 加藤大輔

1. 委員会開催（全てオンライン開催）

第1回 2022年7月7日（木）19：00～20：00

第2回 2022年9月8日（木）20：00～20：15

第3回 2022年11月17日（木）20：00～20：30

第4回 2023年2月27日（月）20：00～21：00

2. 人権擁護・身元保証検討委員会との合同会議（オンライン）

第1回 2022年10月4日（火）19：00～20：00

3. ミニ講座「はじめての調査研究」シリーズ

第1回

日時：2022年9月8日（木）19：00～20：00

形式：オンライン（Zoom）

講師：前橋赤十字病院 碓井祐太郎

内容：・初学者が初学者なりに調べたリサーチに関する基本的な考え方
・自身の学会発表の経験談
・学会に関する情報交換・情報提供

参加者：12名

第2回

日時：2022年11月17日（木）19：00～20：00

形式：オンライン（Zoom）

講師：高崎健康福祉大学 加藤大輔

太田記念病院 原一正

内容：・大学教員の立場からリサーチに関する実際やその必要性
・学術研究のお話

参加者：11名

第3回

日時：2023年2月27日（月）19：00～20：00

形式：オンライン（Zoom）

講師：文京学院大学 篠原純史

高崎総合医療センター 高橋紀貴

内容：実際の研究・調査における具体的な手順

参加者：16名

一般社団法人群馬県医療ソーシャルワーカー協会関係機関及び団体等の役員一覧

2023/4/13現在

別紙1

【協会として加入している団体等】

	団体名	備考
1	群馬県社会福祉協議会	団体会員
2	群馬県精神保健福祉協会	団体会員
3	群馬県難病団体連絡協議会	賛助会員

【協会として役員等を選出している団体及び会議体】

	団体名及び会議名	職名	任期	協会員	役職	主管団体（課）
1	全国医療ソーシャルワーカー協会会長会		R4年度より	狩野 寛子	会長	全国医療ソーシャルワーカー協会会長会
2	群馬緩和医療研究会	委員	明記なし		会長	群馬緩和医療研究会
3	群馬県多職種連携推進協議会	委員		中井 正江	顧問	群馬県医師会業務課
4	群馬県小児等在宅医療連絡協議会	委員	R4/3/1～5/3/31	中井 正江	顧問	健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
5	群馬県保健医療計画会議在宅推進部会	委員	R3/4/1～2年間	狩野 寛子	会長	群馬県健康長寿社会づくり推進課
6	群馬県依存症対策推進協議会	委員	R5/3/～7/3/7	狩野 寛子	会長	群馬県健康福祉部障害政策課
7	群馬県医療安全推進協議会	委員	R3/12/1～2年間	狩野 寛子	会長	群馬県健康福祉部医務課
8	群馬県地域両立支援推進チーム会議	委員	任期なし	狩野 寛子	会長	群馬県労働局
9	群馬県高次脳機能障害支援連絡会	構成員		高橋 紀貴	副会長	群馬県健康福祉部障害政策課精神保健室精神保健・発達支援係
10	群馬県循環器病対策推進協議会	構成員	R4/11/1～2年間	高橋 紀貴	副会長	群馬県健康福祉部医務課医療計画係
11	群馬県難病医療連絡協議会	委員	R5/3/1～7/2/28	星野 裕一	副会長	群馬県健康福祉部感染症・がん疾病対策課
12	群馬県性暴力被害サポートセンター運営会議	委員	R4/5/13～6/5/13	中井 正江	顧問	群馬県生活子ども課生活子ども課
13	群馬県災害派遣福祉チーム（DWAT）					
	災害福祉ネットワーク全体検討会		任期なし	狩野 寛子	会長	群馬県社会福祉協議会/群馬県健康福祉部健康福祉課
	群馬県災害福祉支援ネットワーク		任期なし	中井 正江	顧問	群馬県社会福祉協議会/群馬県健康福祉部健康福祉課
14	群馬県犯罪被害者等支援推進協議会					群馬県生活子ども部生活子ども課人権同和係
15	群馬県地域リハビリテーション支援センター		任期なし	狩野 寛子	会長	群馬大学大学院保健学研究科
16	群馬県女性に対する暴力被害者支援機関ネットワーク会議		任期なし	狩野 寛子	会長	群馬県生活子ども課生活子ども課男女共同参画係
17	群馬県保健医療計画会議 在宅医療推進部会	委員	R3/4/1～5/3/31	狩野 寛子	会長	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
18	ソーシャルワーカーデー2022、2023		R4～5年度	津田 至	理事	
19	リレーフォーライフジャパンぐんま2022、2023		R4～5年度	池田 瑞保	理事	
20	群馬難病団体連絡協議会 署名活動		R4～5年度	関口 奈津希	理事	
21	前橋地域リハビリテーション推進協議会		任期なし	瀬戸 啓之	会員	群馬県
22	おうちで療養相談センター前橋連絡会		任期なし	狩野 寛子	会長	前橋市医師会おうちで療養相談センターまえばし
23	前橋市要保護児童対策地域協議会	委員	R4～5年度	中井 正江	顧問	前橋市子育て支援課家庭児童相談係
24	前橋市要保護児童対策地域協議会実務者会議			中井・関上・神戸		前橋市
25	高崎市介護認定審査会	委員	R5/4/～2年間	高林 亜希子 清水 恭子 村井 雅子	会員 会員 会員	高崎市介護保険課
26	太田地域在宅医療・介護連携推進協議会委員	委員	R3/12/16～2年間	津田 至	理事	太田市長寿安心課

	会議等名称	内容	開催日	出席・参加者
1	前橋市要保護児童対策地域協議会代表者会議	会議	5月19日	中井正江氏
2	前橋市要保護児童対策地域協議会実務者会議	会議	5/16 関上里子氏 6/20 神部麻紀子氏 7/19 望月裕子氏 9/20 関上里子氏 10/17 神部麻紀子氏 11/21 中井正江氏 12/19 関上里子氏 1/16 神部麻紀子氏 2/13 中井正江氏 3/20 中井正江氏	
3	ソーシャルワーカーデー合同会議	会議（オンライン）	6月13日	津田至氏
4	おうちで療養相談センターまえばし連絡会	書面	6月1日	狩野寛子氏
5	全国医療ソーシャルワーカー協会会長会	会議（オンライン）	6月25日	狩野寛子氏
6	令和4年度DWAT派遣シミュレーション	訓練及び会議	7月8日	狩野寛子氏
7	太田市在宅医療介護連携センター運営会議	会議	7月11日	津田至氏
8	群馬県小児等在宅医療連絡協議会	会議（オンライン）	7月22日	碓井祐太郎氏
9	群馬県災害福祉支援ネットワーク第17回全体検討会	会議	7月22日	狩野寛子氏
10	ソーシャルワーカー三団体情報交換会議	会議（オンライン）	7月28日	狩野寛子氏 星野裕一氏 高橋紀貴氏 中井正江氏
11	群馬県保健医療計画会議 在宅医療推進部会	会議（オンライン）	8月4日	狩野寛子氏
12	医療・介護連携フェスティバルin高崎 会議	会議（オンライン）	8月8日	高橋 紀貴氏
13	医療・介護連携フェスティバルin高崎 会議	寸劇撮影	9月8日	高橋 紀貴氏
14	群難連療養医療相談会	相談会	9月23日	関口奈津希氏
15	リレー・フォー・ライフジャパン2022 ぐんま	活動参加	10月8日	池田瑞保氏
16	ソーシャルワーカー三団体情報交換会議	会議（オンライン）	10月27日	狩野寛子氏 星野裕一氏 高橋紀貴氏 中井正江氏
17	医療・介護連携フェスティバルin高崎 会議	会議（オンライン）	11月1日	高橋 紀貴氏
18	太田市在宅医療介護連携センター運営会議	会議	11月11日	津田至氏
19	群難連療養医療相談会	相談会	11月22日	狩野寛子氏
20	令和4年度医療通訳ボランティア養成講座	講師	11月27日	高橋 紀貴氏
21	全国医療ソーシャルワーカー協会会長会	会議（オンライン）	11月27日	狩野寛子氏
22	医療・介護連携フェスティバルin高崎 会議	会議（オンライン）	11月29日	高橋 紀貴氏
23	令和4年度群馬県地域両立支援推進チーム	会議	12月13日	狩野寛子氏
24	避難生活支援リーダー／サポーターモデル研修	研修	12月18日、24日、25日	狩野寛子氏
25	群馬県循環器病対策推進協議会	会議（オンライン）	12月27日	高橋 紀貴氏
26	令和4年度群馬県女性に対する暴力被害者支援機関ネットワーク会議	会議（オンライン）	1月25日	狩野寛子氏
27	ソーシャルワーカー三団体情報交換会議	会議（オンライン）	1月26日	狩野寛子氏 星野裕一氏 高橋紀貴氏
28	太田地域在宅医療・介護連携推進協議会	会議	2月9日	津田至氏
29	令和4年度群馬県リハビリテーション関連団体連絡協議会定例会議	会議（オンライン）	2月18日	狩野寛子氏
30	群難連療養医療相談会	相談会	2月19日	星野裕一氏
31	群馬県災害福祉支援ネットワーク第18回全体検討会	会議	2月28日	狩野寛子氏
32	災害時における被災者等相談に関する協定締結の協議に関する説明会	会議	2月28日	狩野寛子氏 吉井郁美氏
33	令和4年度群馬県依存症対策推進協議会	会議	3月8日	狩野寛子氏
34	おうちで療養相談センターまえばし連絡会	書面	3月10日	狩野寛子氏